

2009年4月3日

株式会社ディーエイチシー

DHCの社会的責任(CSR)活動

介助犬育成事業のサポートを開始

4月6日より社会福祉法人 日本介助犬福祉協会への支援を開始します

株式会社ディーエイチシー(本社:東京都港区、代表取締役会長 兼 CEO:吉田 嘉明、以下:DHC)は、2009年4月6日(月)より、社会福祉法人 日本介助犬福祉協会への支援を開始します。社会の美と健康から知性まで、クオリティ・オブ・ライフの向上に貢献する企業として、交通事故の被害者をはじめとする多くの肢体不自由者の自立と社会参加・社会的経済活動への参加を支援する介助犬育成事業をサポートする事といたしました。

現在、日本の肢体不自由者は約165万人、そのうち介助犬の適応となりうる方は、1万5千人にもなると推計されています。しかしながら、実働している介助犬の数は僅か45頭(2009年3月1日現在)です。

介助犬をとりまく環境は、認知不足や財源不足をはじめ課題が山積している現状ですが、介助犬を希望される身体障害者に一日でも早く、一頭でも多くの介助犬を無償貸与できる介助犬育成システムの構築が急務とされています。

DHCは、「市民による市民のための福祉」を理念とし公的助成を受けず、一部の篤志家や企業の善意によってのみ支えられている日本介助犬福祉協会の活動に賛同し、今後、協会と共に全国各地での募金箱設置の他、様々な取り組みを積極的に行ない、介助犬の普及に貢献していきたいと考えています。

社会福祉法人 日本介助犬福祉協会とは

介助犬を育成する事業を行ない、その社会認知を広め、身体障害者の社会参加推進を支援している団体が、社会福祉法人 日本介助犬福祉協会です。介助犬は肢体不自由者の方に無償訓練・貸与されます。事業の運営資金は賛助会員、寄付、募金などによって支えられています。



社会福祉法人・厚生労働大臣指定法人

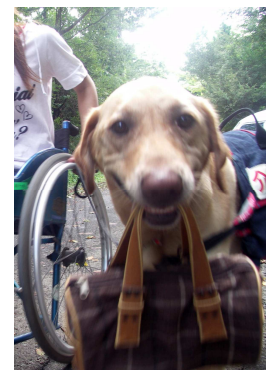
日本介助犬福祉協会

平成17年9月:社会福祉法人認可/山梨県指令福祉総第839号

<http://www.kaijoken.or.jp>

介助犬とは

肢体不自由により日常生活に著しい支障がある身体障害者のために、物の拾い上げ及び運搬、服の脱衣の補助等、肢体不自由の方の補助を行なう犬であり、厚生労働大臣が指定した法人から認定を受けている犬(2004年10月より)を言います。



以上